

科目名	ストアマネジメント I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネジメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネジメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義:40% 討議:30% 演習:30%
時間数	120	作成者	廣田義信

**【科目の到達目標】**

お客様のニーズに即応できる「販売のプロ」になる為の基礎を学ぶ。ファッションビジネスの起点である「顧客視点」を知り、実店舗における実践学習に向けた心構えと基本姿勢を学ぶ。

**【科目の概要】**

本科目では、講義によって販売に必要な知識と技術を習得する。また、演習(ロールプレイング)を取り入れ実践的な授業を行う。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1・2	■ 販売職の理解	31・32 ■ はじめてのお声がけ
3・4	■ ドレッサーの1日	33・34 ■ 興味段階のお客様
5・6	■ 5つの心、5つのテーマ	35・36 ■ お声がけのタイミング
7・8	■ 販売演習の検証と修正、仮説立案	37・38 ■ 販売演習の検証と修正、仮説立案
9・10	■ お客様対応8大用語	39・40 ■ セールストーク
11・12	■ 言葉遣い	41・42 ■ 適切なお声がけ【興味が明確な場合】
13・14	■ 商品ができるまで	43・44 ■ 適切なお声がけ【興味が明確でない場合】
15・16	■ 販売演習の検証と修正、仮説立案	45・46 ■ 販売演習の検証と修正、仮説立案
17・18	■ お客様対応の流れ	47・48 ■ 連想～信頼段階のお客様
19・20	■ 8段階の購買心理	49・50 ■ お聞きだしと受止め
21・22	■ 注目段階のお客様	51・52 ■ 決定段階のお客様 ■ お見送り
23・24	■ 動的待機	53・54 ■ 金銭授受
25・26	■ 販売演習の検証と修正、仮説立案	55・56 ■ 電話対応
27・28	■ 前期修業テスト(実技、筆記)	57・58 ■ 後期修業テスト(実技、筆記)
29・30	■ 前期まとめ	59・60 ■ 期末まとめ

**【成績評価方法】**

平常評価 40%、提出物評価 30%、試験 30%

出席状況、授業態度(発言・発表、討論など参画意識や協調性)の平常評価と、提出物、試験(筆記、実技)を総合的に評価する。

**【教科書・参考書】**

オリジナルテキスト『ストアマネジメントコース I』

**【教材・教具】**

特に指定はしない。授業内で随時紹介する。

科目名	販売演習 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	実習 100%
時間数	332	作成者	廣田 義信

**【科目の到達目標】**

お客様のニーズに即応できる「販売のプロ」になる為の基礎を学ぶ。ファッションビジネスの起点である「顧客視点」を知り、販売の知識と技術を習得する。

**【科目の概要】**

提携先企業の直営店舗で販売演習を行う。店舗のスタッフと一緒に、お客様との接点を通じ知識と技術だけでなくファッション業界全体を理解する。

**【授業計画】**

90分/コマ	前期	後期
1-166 ※学習内容を 単元・コマ で区切らず 前期および 後期の全 166コマを通 し体得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■基本姿勢</li> <li>■メンバーからの信頼</li> <li>■自分磨き</li> <li>■コミュニケーション</li> <li>■5つのテーマ体现</li> <li>■協調性</li> <li>■積極性</li> <li>■明るいお出迎え・お見送り</li> <li>■お客様への気配り</li> <li>■素早いおたたみ</li> <li>■さりげない商品整理</li> <li>■ストックルームの整理整頓</li> <li>■書類の作成</li> <li>■連絡・情報共有</li> <li>■顧客目線</li> <li>■目標達成意識</li> </ul>	

**【成績評価方法】**

平常評価 40%、提出物評価 30%、行動評価 30%  
平常評価(出席状況、実習態度など)、提出物、行動評価(実習における知識、技術の習得と発揮具合)による総合評価。

**【教科書・参考書】**

なし

**【教材・教具】**

販売演習報告書、その他必要に応じ随時紹介する。

科目名	ファッションビジネス理論と演習 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	120	作成者	高木義隆

**【科目の到達目標】**

ファッションビジネスの基礎知識とファッション産業における商品知識を講義と演習により修得し、ファッションマーケットの情報を収集・分析できる人材の育成。  
「ファッションビジネス能力検定3級」合格を目指す。

**【科目の概要】**

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。  
ファッション商品知識をマップにより学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	ファッションとは/ファッション業界とは		31 ショップ企画
2	自己分析		32 ショップリサーチ報告
3	ファッション商品の流れ		33 ショップリサーチ報告
4	自己マップ製作		34 ショップ運営報告
5	自己マップ発表		35 ライフスタイルとファッション
6	オケーションマップ		36 第2章まとめ
7	ファッション小売業と店舗		37 トレンド感性マップ
8	オケーションマップ		38 アパレル産業の概要
9	お客様とは		39 トレンド感性マップ
10	オケーションマップ		40 ファッション小売業の概要
11	マップ発表		41 トレンド感性マップ発表①
12	アイテム知識		42 ファッション小売業の概要
13	繊維ファッション産業の流れ		43 トレンド感性マップ
14	アイテム知識		44 ファッション小売業の概要
15	アイテム知識		45 トレンド感性マップ
16	ファッションビジネスの流れ		46 ファッション小売業の概要
17	アイテム知識確認テスト		47 トレンド感性マップ
18	ファッションビジネスの歩み		48 第3章まとめ
19	アイテム知識		49 トレンド感性マップ
20	ファッションビジネスの歩み		50 マーケティングの基礎知識
21	アイテム知識		51 トレンド感性マップ発表②
22	ファッションビジネス最近の傾向		52 マーケティングの基礎知識
23	アイテム知識		53 マーケティング演習&第4章まとめ
24	ショップ企画		54 マーチャンダイジングの基礎知識
25	第1章まとめ		55 マーチャンダイジングの基礎知識
26	アイテム知識確認テスト		56 企画生産販売の流れ
27	テスト		57 第5章まとめ
28	トレンド感性マップ		58 流通とは
29	ショップ企画		59 第6章まとめ
30	トレンド感性マップ		60 テスト

**【成績評価方法】**

課題	60%
修業テスト	30%
平常点(授業態度)	10%

**【教科書・参考書】**

辞典:ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局  
 教①:菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社  
 教②:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[ I ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会  
 教③:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売[ I ]訂正版 ファッション販売能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集』  
 大枝一郎『ファッションビジネスの基本上』ファッション教育社、『ファッション販売』商業界

科目名	コーディネート論 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	後期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	阪田優

**【科目の到達目標】**

ファッションアドバイザーとして、お客様にご満足頂けるコーディネートの提案が出来る基礎知識をつける。

**【科目の概要】**

ファッションは「自己表現」のひとつであり「自分らしさ」の表現である。またコーディネーションにより、その表現は無限に広がりを見せる。本教科では、コーディネーションの基礎から、お客様に提案するためのコーディネーションによるイメージ表現を講義と実習により学ぶ

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 コーディネートの重要性 I
- 2 色の重要性 I 色による肌色の変化
- 3 色の重要性 II テイスト表現
- 4 色の重要性 III 色による膨張・収縮 重・軽
- 5 色の重要性 IV パーソナルカラー
- 6 マインド別のコーディネート I トレンドマトリックス
- 7 マインド別のコーディネート II ターゲット別4テーマ
- 8 マインド別のコーディネート III 1アイテムの着こなしバリエーション
- 9 オケージョン別コーディネート I オフィシャルオケージョン
- 10 オケージョン別コーディネート II フォーマルオケージョン
- 11 ヘア&メイクとのコーディネーション II 基礎ケア&メイクアップ
- 12 ヘア&メイクとのコーディネーション III ブランドイメージに合ったトータルコーディネート(1)
- 13 ヘア&メイクとのコーディネーション IV ブランドイメージに合ったトータルコーディネート(2)
- 14 コーディネートの重要性 II
- 15 テスト

**【成績評価方法】**

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

『スタイリングブック』 高村是州 グラフィック社 1993年

**【教材・教具】**

アパレル商品・着色道具・カメラ・雑誌・のり・ハサミ  
『ファッションスタイリング検定3級テキスト〈分析・分類編〉』 都外川八恵

科目名	ファッションマーケティング&プランニング	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	通年
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	松下絢子

**【科目の到達目標】**

マーケティングの基礎知識を講義と演習により修得し、市場の求めるファッション商品のプランニングが出来る人材の育成。

**【科目の概要】**

商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を講義とリサーチにより学ぶ。市場に求められるファッション商品のマーケティングとプランニングを商品企画書作成により学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ		前期	後期
1	消費者行動とは	16	ブランド企画
2	消費者生活の分類	17	シーズンコンセプト企画
3	消費者生活の分類	18	シーズンコンセプト企画
4	消費者行動とファッション生活	19	シーズンコンセプト企画
5	消費者行動とファッション生活	20	シーズンコンセプト企画
6	ワードローブプラン	21	コーディネート企画
7	消費者行動とファッション生活	22	コーディネート企画
8	消費者行動とファッション生活	23	アイテム企画
9	商品企画準備	24	アイテム企画
10	ターゲット企画	25	プロモーション企画
11	ターゲット企画	26	プロモーション企画
12	ターゲット企画	27	プロモーション企画
13	テスト	28	プロモーション企画
14	ブランド企画	29	テスト
15	ブランド企画	30	商品企画プレゼンテーション

**【成績評価方法】**

課題	60%
修業テスト	30%
平常点(授業態度)	10%

**【教科書・参考書】**

辞典:ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局  
 教①:菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社  
 教②:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[ I ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

内藤郁代『商品企画実践のための感性分類とトレンド分析』ファッション教育社  
 栗山志明『フィールドマーケティングの基本と技術』織研新聞社、商業界『ファッション販売』

科目名	服飾素材論 I	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義100%
時間数	30	作成者	古濱伴子

**【科目の到達目標】**

ファッショントレンドとアパレル素材の関連性を把握する。  
アパレル素材の基礎知識の習得し、その代表的な生地の特徴を理解する。

**【科目の概要】**

ファッションにおいて、もとなる材料である素材。そのアパレル素材の基礎知識を体系的に習得する。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 素材とは？(繊維・糸・布)
- 3 生地の種類について(織物・編物)
- 4 繊維の種類について
- 5 繊維の特性
- 6 天然繊維・植物繊維(1)綿  
その代表的な布地
- 7 天然繊維・植物繊維(2)麻  
その代表的な布地
- 8 天然繊維・動物繊維(1)毛
- 9 その代表的な布地
- 10 天然繊維・動物繊維(2)絹
- 11 その代表的な布地
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)
- 13 まとめ
- 14 復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

- ・一見輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社1998年
- ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所

**【教材・教具】**

筆記用具

科目名	ファッションドローイング&デザイン	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	後期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	松下絢子

**【科目の到達目標】**

ファッション産業界に必要なデザイン画及びデザインの基礎知識、ファッションプロポーション・スタイル・シルエットの理解。色々なポーズ着装・着色方法・平面画の描き方とテクニック、時代に即応したコーディネート表現を修得する。色々なスタイリングやデザインを理解し、トレンド感性を伸ばす。

**【科目の概要】**

グローバルな観点からトレンドを分析し、ファッション業界に必要なファッションスタイリング、ファッションデザイン知識の講義、スタイル画・ハンガーイラストの描き方を修得。

**【授業計画】** 90分/コマ

- 1 直立ポーズ
- 2 直立ポーズ
- 3 片足重芯ポーズ
- 4 スタイル・ボディ画
- 5 スタイル・ボディ画
- 6 スタイル・ボディ画
- 7 スタイル・ボディ画
- 8 スタイル・ボディ画
- 9 スタイル・ボディ画
- 10 スタイル・ボディ画
- 11 アイテム画・ハンガーイラスト
- 12 商品企画コーディネート画
- 13 アイテム画・ハンガーイラスト
- 14 商品企画コーディネート画
- 15 アイテム画・ハンガーイラスト
- 16 商品企画コーディネート画
- 17 アイテム画・ハンガーイラスト
- 18 商品企画コーディネート画
- 19 アイテム画・ハンガーイラスト
- 20 商品企画・アイテム画
- 21 アイテム画・ハンガーイラスト
- 22 商品企画・アイテム画
- 23 商品企画・アイテム画
- 24 商品企画・アイテム画
- 25 商品企画・アイテム画
- 26 商品企画・アイテム画
- 27 復習・テスト対策
- 28 復習・テスト対策
- 29 復習・テスト対策
- 30 修業テスト

**【成績評価方法】**

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

辞典:ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

教①:高村是州『ファッションデザインテクニック』株式会社グラフィック社

教②:(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[ I ]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

教③:高村是州『スタイリングブック』株式会社グラフィック社

**【教材・教具】**

科目名	カラーリング	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	高木義隆

**【科目の到達目標】**

色彩の基礎学習と課題制作を通じてファッションに対する意識と実践力を高める。  
 アパレル業界ビジネス分野においてカラーリングの重要性に気づき・対応出来る基盤を獲得することを目標にしている。主観的な発想だけでなく、客観的に物事を考える力を身につける。

**【科目の概要】**

配色(カラーリング)の基礎・色の仕組みを、PCCSの理論を基礎に、絵具による混色。着彩とカラーリングにより演習を行いカラーリングの重要性を学ぶ。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 授業・道具の説明 講義「色彩のはたらき」
- 2 色彩の体系1 講義「色の三属性」 演習「初めての色だし」
- 3 色彩の体系2 講義「ヒュー&トーンシステム」 演習「オリジナルカラーカード作り」
- 4 色彩理論－基礎1 講義「三原色と混色」 演習「2色・3色配色」
- 5 色彩理論－基礎2 講義「色の成り立ち・光と色」 演習「トーン別色相環作り」
- 6 色彩理論－基礎3 講義「視覚と色」 演習「ファッションのイメージ配色①ロマンチック・ソフト・フェミニン」
- 7 色彩理論－基礎4 講義「色彩と心理」 演習「ファッションのイメージ配色①」
- 8 前半の復習と小テスト
- 9 色彩の技術1 講義「配色の基礎」 演習「ファッションのイメージ配色②クラシック・ベーシック」
- 10 色彩の技術2 講義「色彩構成－カラーコーディネート」 演習「ファッションのイメージ配色②」
- 11 ファッション産業と色彩1 講義「仕組みと色彩・他」 演習「ファッションのイメージ配色③フォークロア・他」
- 12 ファッション産業と色彩2 講義「企画・生産段階の色彩」 演習「ファッションのイメージ配色③」
- 13 ファッション産業と色彩3 講義「流通段階の色彩」 店舗リサーチ
- 14 半期の復習 リサーチ結果発表
- 15 期末テスト

**【成績評価方法】**

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

**【教科書・参考書】**

大沼 淳『ファッション色彩 I』財団法人 日本ファッション教育振興会

**【教材・教具】**

デザインセット(デアインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)雑巾、B4ケント紙、配色カード(199色)  
 30センチ定規、雲形定規、コンパス、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

科目名	フィッティング演習	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	ホウーシャ瑠伊

**【科目の到達目標】**

アパレルショップで即戦力となる人材の育成を目指し、ファッションアドバイザーに必要な「フィッティング」と「お直し」のテクニックの習得と、アパレル商品の価値について適正な判断ができる知識の習得を目指す。

**【科目の概要】**

近年、ファッション業界ではファストファッション化が進み、アパレル商品の価値が問われる時代となった。アパレル商品の価値について適正な判断のできる知識を習得するとともに、ファッションアドバイザーがファッションショップで必要な縫製知識を講義と演習により習得する。

**【授業計画】**

90分/コマ

- 1 商品の価値を知る
- 2 縫製の基礎Ⅰ
- 3 縫製の基礎Ⅱ
- 4 縫製の基礎Ⅲ
- 5 縫製の基礎Ⅳ
- 6 採寸知識
- 7 アイテムの知識Ⅰ
- 8 フィッティングテクニックⅠ
- 9 アイテムの知識Ⅱ
- 10 フィッティングテクニックⅡ
- 11 アイテムの知識Ⅲ
- 12 フィッティングテクニックⅢ
- 13 アイテムの知識Ⅳ
- 14 フィッティングテクニックⅣ
- 15 期末テスト

**【成績評価方法】**

課題評価70%  
授業態度10%  
期末テスト30%

**【教科書・参考書】**

**【教材・教具】**

科目名	トレーニングタイム	整理番号	記入しないで下さい
学科	ファッションビジネス・ストアマネージメント学科	期	前期
コース	ファッションビジネス・ストアマネージメントコース		昼間
学年	1	授業形態	講義:40% 討議:30% 演習:30%
時間数	30	作成者	廣田義信

**【科目の到達目標】**

お客様のニーズに即応できる「販売のプロ」になる為の基礎を学ぶ。ファッションビジネスの起点である「顧客視点」を知り、実店舗における実践学習に向けた心構えと基本姿勢を学ぶ。

**【科目の概要】**

本科目では、講義によって販売に必要な知識と技術を習得する。また、演習(ロールプレイング)を取り入れ実践的な授業を行う。

**【授業計画】 90分/コマ**

- 1 ■販売職の理解 ■5つのテーマ、5つの心
- 2 ■お客様対応8大用語 ■言葉遣い
- 3 ■お客様対応の流れ ■8段階の購買心理
- 4 ■動的待機～はじめてのお声かけ
- 5 ■興味段階のお客様 ■お声かけのタイミング
- 6 ■セールストーク
- 7 ■興味が明確な場合 ■興味が不明確な場合
- 8 ■連想～信頼段階のお客様
- 9 ■お聞き出しと受止め
- 10 ■決定段階のお客様～お見送り
- 11 ■金銭授受 ■電話対応
- 12 ■実習前に知っておきたいこと
- 13 ■実習前に知っておきたいこと
- 14 ■実習前に知っておきたいこと

**【成績評価方法】**

平常評価 40%、提出物評価 30%、行動評価 30%

平常評価(出席状況、実習態度など)、提出物、行動評価(実習における知識、技術の習得と発揮具合)による総合評価。

**【教科書・参考書】**

必要に応じ随時紹介する。

**【教材・教具】**

必要に応じ随時紹介する。